



春日井ロータリークラブ

2024-25

WEEKLY REPORT

クラブ方針

Rotary Club of KASUGAI



「脚下照顧」

会 長：青山 博徳
 副 会 長：北 健司
 副 会 長：大原 泰昭
 幹 事：岡本 博貴
 会報委員長：芝田 貴之

事務局：春日井市鳥居松町 5-45
 T E L：0568-81-8498
 F A X：0568-82-0265
 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp
 H P：https://www.kasugai-rc.org/
 例会場：ホテルプラザ勝川



2025年2月28日（金）2621回（2月第3例会）

本日のプログラム

- ・点鐘
- ・ROTARY SONG
- ・今月の歌
- ・ビジター・ゲスト紹介
- ・食事・歓談
- ・委員会報告
- ・卓話
- ・幹事報告
- ・点鐘

会長
 「日も風も星も」
 「スキー」
 会長
 幹事
 会長

司会 会場委員会
 青山 博徳君
 青山 博徳君
 小柳出和文君
 岡本 博貴君
 青山 博徳君

【お料理】
 バジルパスタとトスサラダ
 パルマンティエスープ
 豚肩ロース肉のステーキ ガーリックオニオンソース
 ご飯
 デザート
 コーヒー

今月の歌
 「スキー」
 山はしろがね 朝日を浴びて
 滑るスキーの 風きる早さ
 とぶは小雪か 舞い立つ霧か
 おおゝこの身も 駆るよ駆る

	3月7日（金）	3月14日（金）	3月21日（金）	3月28日（金）
例会予定	11：15～第9回理事会 12：30～例会 祝福 卓話 東海つばめ学習会 柿本 知樹様	12：30～例会 卓話 地区国際奉仕委員 筒井 健君	12：30～例会 3 RCIAC報告合同例会	休会

先週の記録

開会のことは

愛知長久手ロータリークラブ IM実行委員長 伊藤 広治君

皆様こんにちは、愛知長久手ロータリークラブIM実行委員長 伊藤広治でございます。当クラブは14名の少数クラブではありますが全力でホストの役を担わせていただきます。しかしながら準備運営等至らぬことも多々あるかと思われましてロータリーの友情を持ってご容赦いただきたいと願います。本日は吉川公章ガバナーはじめ地区関係者の皆様、パストガバナー、パストガバナー補佐、そして東尾張分区会員の皆様にご登録ご参加いただき誠にありがとうございます。また大変お寒い中この場に足をお運びいただき皆様のお顔を拝見することが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

さて2024-25年度東尾張分区IMのテーマは「地域創生」～クラブの役割とその繋がり～で開く未来社会～です。大袈裟なタイトルですが地域を創るのは日々の小さな積み重ねであると思います。ロータリーのマジックも大魔法でもなく当たり前のことが当たり前にできる社会を創ることが発端でした。先ずは私たちが出来ることをする。今出来ていることを継続することが大切ではないでしょうか。私がこのロータリーに参加するようになり感銘を受けた言葉に、天台宗開祖の最澄の「一隅を照らす、此れ則ち国宝なり」があります。国の宝は文化財、金銀財宝ではなく、皆が気付かない片隅で社会を照らしているような人が宝であると伝えていきます。私たちは世界を動かせるような大きな組織に属するが、しっかりと足元の地域とつながり自分たちが照らすべき対象地域の課題を見つけ継続的に支援と奉仕を行うクラブでありたいと願います。「一燈照隅、万燈照国」私たちにしか見えない課題や影を同じ光を持った私たちが繋がりいずれば国や世界を隅々まで照らすことが出来ます。それがロータリーだと感じます。本日の基調講演では長久手市にございますトヨタ博物館シニアキュレーター 布垣様より地域貢献についての講話を頂きます。一企業が地域を照らすあかりから一クラブが照らすあかりを見直し自分たちが進む道を照らすあかりを取っていただくことを今回のインターシティーミーティングの趣旨といたします。それでは2024-25年度国際ロータリー第2760地区東尾張分区インターシティーミーティングを開会いたします。

歓迎のことは

愛知長久手ロータリークラブ 会長 小谷 恒夫君

こんにちは 愛知長久手RC 会長の小谷恒夫です。2024-25年度 IMのホストクラブとして愛知長久手RCが務めさせていただきます。本日は 吉川公章ガバナーはじめ地区幹事、地区スタッフ、2名のパストガバナー、17名のパストガバナー補佐：次期ガバナー補佐の皆様 ようこそおいでくださいました。そして東尾張分区12RC 全員登録と多数の参加を頂き誠にありがとうございます。

本日のIMテーマは「地域創生」～クラブの役割とその繋がり～で開く未来社会～です。基調講演は、トヨタ博物館シニアキュレーター 布垣直昭様による「トヨタ博物館と地域貢献」というテーマで講演して頂きます。何と愛知長久手RCの例会場は長久手市にあるトヨタ博物館でもあるのです。楽しみにして下さい。本日ご出席頂きました皆様に感謝申し上げ 私の歓迎の挨拶とします。

ガバナー補佐挨拶

東尾張分区ガバナー補佐 日野 典子君

皆さんこんにちは。2月の寒い中、東尾張分区のIMにお越しいただき感謝申し上げます。昨年のちょうど今頃私はこの舞台上で初めて東尾張分区12ロータリーの皆様にご挨拶させて頂きました。確かティアラを付けてここに登壇してご挨拶したのを覚えています。あれから1年経ちました。ガバナー補佐も8ヶ月経ち残り4ヶ月になりました。

ここまで来れたのはひとえに、ここに見えるロータリーの皆様の友愛の精神のおかげだと思います。本当にありがとうございます。謹んでお礼申し上げます。2024-25年の東尾張分区のIMのテーマは『地域創生』です。ロータリーのマジックがRIのテーマですがロータリーの理念、方針、行動を考えるとその全てが社会における地域創生からのマジックであると私は感じています。

しかしながら現在のロータリークラブは今までの歴史に基づき過去からの継続に縛られてきた様な気がします。今こそ変化しないといけない時に来ているのではないのでしょうか。私達個人がロータリアンとして各クラブが地域貢献と奉仕活動を継続する事によって私達の周りや地域は新たな社会に変化して行く未来が見えるのにロータリークラブはまだ変化し切れない所に居ます。

時代はアメリカのエミー賞で日本人のドラマSHOGUNが主演男優賞、主演女優賞など18部門で賞を取りました。音楽の祭典グラミー賞ではビヨンセが4度のノミネートを経て初めて最優秀アルバム賞を取りました。黒人歌手でなかなか取れないと言われて来て、何度も挑戦して今年は賞を掴みました。時代は本当に変わって来ていると確信しました。

私達は世界をも動かせる様な組織に属しています。今こそ足元の地域と繋がり自分たちが照らすべき対象地域の課題を見つけ新しい支援と奉仕を継続していかなくては行けないのではないのでしょうか。次の支援と奉仕はどんなものになって行くのでしょうか。その未来を考えて進むクラブが地域創生を作るのだと思います。そしてその向こうにマジックが始まります。地域創生もマジックも一瞬にして社会を変えてしまうような大事業ではなく、ゆっくりであっても継続的にしっかりと前進して成長していく事が大切なのではないのでしょうか。この東尾張分区のロータリーの皆さんが固く繋がって光を放てば次の未来を作るロータリーのマジックがでかかります。皆さんで大きなロータリーのマジックを作って行きたいです。

東尾張分区インターシティーミーティング開催に寄せて

国際ロータリー第2760地区ガバナー 吉川 公章君

東尾張分区インターシティーミーティングの開催、誠にありがとうございます。また、本日はこのような素晴らしい場にお招きいただき、心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐・日野典子様のご指導のもと、ホストクラブである愛知長久手ロータリークラブの小谷恒夫会長、伊藤広治IM実行委員長をはじめ、多くの皆様のご尽力により、本会が開催されることに深く敬意を表します。

本年度の国際ロータリーのテーマ「ロータリーのマジック」のもと、私たちのクラブ活動が地域社会に与える影響や、今後どのように価値を創出していくべきかを改めて考える場として、本日のインターシティーミーティング（IM）は大変意義深いものと確信しております。

東尾張分区には12のクラブがあり、日本有数の陶磁器産業をはじめ、電子部品や食品加工など、多彩な産業が発展しています。また、自然と調和した住環境に恵まれ、「日本一住みやすい街づくり」としても知られています。教育水準も高く、伝統と革新が融合するこの地域において、それぞれのクラブが築いてきた成果や課題を共有することで、私たち全体の知識や経験がより深まり、それがやがて「ロータリーのマジック」となり、地域社会に大きなインパクトをもたらすこととしましょう。

本日は、歴史ある名車を展示しているトヨタ博物館館長のシニア・キュレーター布垣直昭氏によるご講演が予定されており、貴重なお話を伺えることを私自身も大変楽しみにしております。

さて、ロータリーの最大の財産とは何でしょうか。それは、歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的ネットワークでもありません。それは「会員」です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームであり、私たちの活動の原動力です。

青少年交換プログラムに関わる会員の方から、印象的なお話を伺いました。

「派遣する高校生には、1年間のオリエンテーションを経て送り出します。派遣先の地区と協議を重ね、手続を整え、ようやく留学が実現します。人前で話すのこぎこちなかった学生が、1年間の留学を終えて帰国し、生き生きとした表情で留学の報告をする。その成長した姿を見た瞬間、私はロータリーの一員として何となすべきかが明確になりました。ロータリーは人と人をつなぎ、共に成長する場なのだ、心から実感しました。」と。ロータリーの真の価値は、会員一人ひとりが地域社会にどのように貢献し、その経験を通じて自身もいかに成長していくかにあります。

現在、2760地区の会員数は4,590名となり、7月1日と比較して138名増加しました。また、ローターアクトクラブの会員数は154名で、RI会員数の合計は4,744名となります。しかし、近年最も会員数の多かった当地区も、現在は2750地区にその座を譲っています。2750地区のロータリークラブ会員数は4,594名、ローターアクトクラブ会員数は291名で、合計4,885名。特にローターアクトクラブの活動が活発であることがわかります。

会員増強は、インパクトのあるロータリー活動を実現するために不可欠であり、最優先事項です。伝統的なロータリークラブの枠にとらわれず、奉仕の精神にあふれ、地域で評価されている方々を新たに迎え入れることが重要です。

例えば、あるクラブでは、地域の若手経営者を積極的に迎え入れました。新しい視点を取り入れることで、クラブの活動がよりダイナミックになり、地域社会とのつながりが深まるだけでなく、国際的な奉仕活動も活発化しています。こうした取り組みこそが、ロータリーの未来を築く鍵となるのではないのでしょうか。

今後、行動計画に基づく3年間の目標設定においても、新たな適応が求められます。しかし、私たちはこれまででも困難の中で協力の道を見出してきました。ロータリーは「革新」「継続性」「パートナーシップ」とともにあります。

本日の議論や交流が、皆様の活動に新たな視点やエネルギーをもたらすこと、ロータリーの新たな価値に気づく契機となることを確信しております。最後に、本IMの成功に向けてご尽力いただいたすべての皆様に改めて深く感謝申し上げますとともに、参加者一人ひとりにとって実り多い時間となるよう、心よりお祈り申し上げます。

次期東尾張分区ガバナー補佐挨拶

2025-26年度 東尾張分区ガバナー補佐 青山 稔君

2025-26年度東尾張分区ガバナー補佐を務めさせていただきます瀬戸ロータリークラブ 青山稔です。

日野ガバナー補佐のご指導の下、伊藤広治実行委員長はじめ愛知長久手ロータリークラブの皆様のご熱意と総力をもって、本日のRI2760地区、東尾張分区インターシティーミーティングが盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、次年度RI会長はマリオ・セザール・マルチンス・デ・カマルゴ氏です。デ・カマルゴ次年度会長は、新たな視点を模索し、世界の地域社会でのロータリーの奉仕を強化することの重要性、その上で成長の為に不可欠な三つの柱として、改革・継続性・リーダーシップを挙げられており、「よいことのために手を取りあおう」と呼び掛けておられます。

RI方針のもと、鈴木ガバナーエレクトの方針に則って一年を皆様と共に前に進んでいければと考えています。

その上で大切なことは「楽しむ」ことです。「エンジョイ・ロータリー」楽しく前を向いて進んで行きたいと思っております。次年度、宜しく願いいたします。

次年度ホストクラブ会長挨拶

次年度ホストクラブ（瀬戸ロータリークラブ）会長 加藤 一夫君

皆さんこんにちは、本日は日野ガバナー補佐をはじめ小谷恒夫会長、伊藤広治実行委員長と共に長久手クラブの皆様がかくも盛大にインターシティーミーティングを開催され、東尾張分区12RCの皆様方とお会いできることに感謝申し上げます。

2025-26年度IMを瀬戸ロータリークラブがホストをさせて頂きまますので宜しくお願ひ致します。瀬戸ロータリークラブ今年度会長の加藤一夫と申します。また、次年度IMの実行委員長を務めさせていただきます。

瀬戸ロータリークラブも次年度に向け今年度のIMをしっかりと学び、次年度に繋げようと思っております。最近の世相と同じようにロータリークラブも目まぐるしく変化していく昨今ですが、ロータリーの基本をしっかりと勉強する事により先を見失わないようにしていかなければならないと思っております。このIMでロータリーの原点を考え、IMの意義を深く考え、各クラブの再確認の場になればと思っております。

次年度のIMの開催日と会場は、令和8年3月15日（日）、この会場と同じ名古屋東急ホテルでございます。内容につきましては、現在準備中でありまして、詳細が決定次第、改めてご案内致しますので、宜しくお願い致します。東尾張分区の皆様一人でも多くのご登録を宜しくお願ひ致します。今日このこれからのプログラム、愛知長久手ロータリークラブらしい素晴らしい時間を過ごさせていただきます。ありがとうございます。

閉会のことは

愛知長久手ロータリークラブ IM実行委員長 伊藤 広治君

式典の閉会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

本日お集りの皆様、そして各クラブの事務局の皆様、東急ホテルスタッフの皆様のお力をお借りいたしまして2024-25年度国際ロータリー第2760地区東尾張分区インターシティーミーティング式典を滞りなく終了することが出来ました。誠にありがとうございました。

次年度のホストクラブ瀬戸ロータリークラブ様にバトンをしっかりお渡しさせていただきます。

引き続きまして基調講演・懇親会へと移らせて頂きます。基調講演では「トヨタ博物館と地域貢献」について、布垣直昭様よりお話を伺います。企業、組織から見る地域貢献の一例と考え方から我々の歩んできた過去を振り返りこれからのマジックに役立てて頂きたいと思えます。また本日皆様にお配りいたしました三つ折りの案内に実はわたくしも映っております。パンフレットのこちらで火縄銃を放っています、私も長久手市が大好きな市民の一人なのです。我々のバナー、この上着の背に描かれるこの長久手市の無形民俗文化財「警固祭り」よりホテル内で火縄銃は撃てませんので棒の手を懇親会のオープニングで披露させていただきますのでお楽しみください。

それではこれを持ちまして2024-25年度国際ロータリー第2760地区東尾張分区インターシティーミーティング式典を閉会いたします。ありがとうございました。

東尾張分区IM乾杯ご挨拶

国際ロータリー第2760地区 地区幹事 片桐 満君

ご紹介いただきました、本年度地区幹事の片桐でございます。名古屋南ロータリークラブ所属でございます。

IMとは分区内の情報交換並びに親睦、交流の場でございます。ここから分区内の親睦をはかっていただければと思います。それでは分区内のクラブのご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして「乾杯」したいと思います。みなさまご唱和願います、「乾杯」。

出席報告

委員長 水谷 高広君

会員 53名	出席35名	出席率 66.0%
先々週の修正出席	出席50名	出席率 94.3%

2024-2025年度 東尾張分区 I M 名古屋東急ホテル 式典



2024-2025年度 東尾張分区 I M 名古屋東急ホテル 式典





東尾張分区 I M 講演会



東尾張分区 I M アトラクション



東尾張分区 I M アトラクション



東尾張分区 I M 懇親会



東尾張分区 I M 懇親会



東尾張分区 I M 懇親会



東尾張分区IM アトラクション



会長挨拶



幹事報告



集合写真